

# 筑波教育学研究

創刊号

2003年3月

筑波大学教育学会

# 目 次

創刊号に寄せて ——教育研究の在り方

筑波大学教育学会会長 桑 原 隆

## 〈依頼論文〉

共生社会 (Decent Society) の可能性と

共生教育学の課題 ..... 門 脇 厚 司 1

「少人数授業」から「少人数学級」へ

—その課題と展望— ..... 山 口 満 17

## 〈投稿論文〉

ディルタイの「教育的関係」論の輪郭と特質 ..... 助 川 晃 洋 27

ライシーム運動におけるコモン・スクール構想

—共有知識の選択に注目して— ..... 古 川 明 子 43

大学公開講座にみる成人学習者の特徴

—筑波大学公開講座を事例として— ..... 手 打 明 敏  
安 藤 耕 己 57

日本の外国人教育施策の全国的動向とその問題点

—都道府県の外国人教育施策の実態に

関する調査の分析を通して— ..... 臼 井 智 美 73

教育機関におけるマーケティング概念の構造的特質

—コトラーにおける公衆に対するマーケティング

技術とその意義に焦点を当てて— ..... 佐 野 享 子 89

教師のカリキュラム開発能力の形成過程に関する事例研究

—高校教師のライフヒストリーをもとに— ..... 浅 野 信 彦 107

〈書評〉

手打明敏

『近代日本農村における農民の教育と学習』 …… 上 田 幸 夫 125

塚田泰彦

『語彙力と読書—マッピングが生きる読みの世界—』

…………… 上 谷 順三郎 131

学会彙報（2002年4月～12月） …………… 137

『筑波教育学研究』投稿規程 …………… 140

編集後記 …………… 141

# 学会彙報 (2002年4月～12月)

## 第1回暫定理事会 (4月18日)

出席者 8人：桑原(会長)，門脇，渡邊，谷川，小島，窪田，浜田，手打

- 1) 第1回大会報告
- 2) 会報第1号の編集について
- 3) 部会・委員会体制について

庶務部：会費管理，名簿管理

部長 浜田博文

幹事 上田一成 (人間総合科学研究科1年)

研究部：学会シンポの企画。附属学校との研究上の連携。

部長 窪田慎二

幹事 辻 宏子 (教育学研究科5年)

編集委員会：委員長 宮寺晃夫

副委員長 水本徳明

幹事 平井悠介 (教育学研究科3年)

- 4) 学系印刷機の使用について

学会事務に要するコピーは事務局長の個人カードを使用する。

会報は業者に委託して作成する。

- 5) 学会事務書類等の保管場所について

(人間学系棟A546の書棚の一部を使用)

6月11日 会報第1号を発送

7月1日 会報発送者宛てに研究紀要申込み案内と「学会設立の経緯」(会長，事務局長連名)を発送

8月23日 「学会加入のお誘い」を学系教員と大学院生に配布，学外者約230名に郵送。

## 第2回暫定理事会（9月4日）

出席者 7人：桑原(会長)、小島、田中、堀、磯田、浜田、手打

会員数：228人（8月31日現在）

選挙管理委員会委員の推薦（甲斐雄一郎、平田諭治、服部次郎の各会員）

理事選挙関係書類を承認

## 第3回暫定理事会議報告（11月6日）

出席者 5人：桑原(会長)、宮寺、堀、手打、甲斐(選挙管理委員会委員長)

### 1. 会務報告

#### 1) 庶務部

①会員数：267名（11月5日現在）

②会報第2号編集について：12月初旬発行予定

#### 2) 編集委員会

宮寺編集委員長より「筑波教育学研究」創刊号の投稿者数は予想以上に多く、編集委員8名だけでは査読の負担が重しいし、カバーできない分野があるため、編集委員の増員の必要性が表明された。

#### 3) 研究部

10月30日にベスタロッツ祭第1部の内容について検討する小委員会が開催され、「法人化を視野に入れつつ大学と附属学校の連携の可能性を探る」というテーマでシンポジウムを開催する案が出された。11月15日に研究部会でさらに検討することとなった。

### 2. 審議事項

#### 1) 理事選挙結果

甲斐選挙管理委員長から資料にもとづき理事選挙結果の報告があった。投票結果にもとづき10名の理事（得票数の多い上位者）を確定した後に、「筑波大学役員選挙規程」5条2（会長に委嘱された理事）の10名の理事候補者を選出した。学会会長名で、投票で選出された10名と会長委嘱の10名の理事候補者に承諾の意志を確認する連絡をとることになった。

2) 第2回大会準備について

9月25日(水)に開催されたペスタロッチ祭・筑波大学教育学会合同委員会において、本年度ペスタロッチ祭は学系と学会の合同でおこなうことが桑原学系長より提案された。理事会はこの提案を承認し、下記の4名の会員を合同委員会委員に選出した。

理事 谷川彰英 (学会大会実行委員長)

研究部長 窪田慎二

庶務部長 浜田博文

事務局長 手打明敏

12月4日 会報第2号を発送

## 『筑波教育学研究』投稿規程

1. 投稿者は筑波大学教育学会会員であること。ただし依頼論文についてはこの限りではない。
2. 機関誌への投稿内容は、未刊行のものに限る。
3. 論文の投稿は、原則として、ワードプロセッサを使用し、横書き、A4版用紙1頁あたり40字×30行で作成し、注および引用文献を含めて16,000字（400字詰め原稿用紙40枚相当）程度とする。
4. 原稿の締め切りは9月末日とする。
5. 論文には英文タイトルを付記するとともに、邦文による400字程度のサマリーを付す。
6. 投稿にあたっては、原稿3部、およびMS-DOSテキストファイルに変換したフロッピー1部を送付するものとする。原稿およびフロッピーは原則として返還しない。
7. 研究論文とは別に、研究ノートの投稿も受け付ける。その際、規程3－6項に準拠する。
8. 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
9. 原稿は、氏名（ふりがな、および英文表記）、所属（ふりがな、および英文表記）、自宅住所（郵便番号、電話番号）、利用可能な場合、ファックス番号、メールアドレスを付記して、下記に送付するものとする。

### 記

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系教育哲学分野（宮寺晃夫研究室）内

筑波大学教育学会編集委員会

## 編集後記

『筑波教育学研究』創刊号をお届けいたします。

内容的には、まず、本学会の前身である筑波大学教育学研究会の会長を務められた山口会員と、本学会設立時に会長を務められた門脇会員にそれぞれ論文の執筆をお願いいたしました。お二人には創刊号にふさわしい論文をお寄せいただき御礼申し上げます。

投稿論文には11編の投稿があり、厳正な審査の結果、6編を掲載することとなりました。初めてのことであり、どのくらいの投稿があるのか期待と不安相半ばする状態でしたが、積極的な投稿をいただき、編集委員としてはうれしい悲鳴を上げたものでした。

書評には二つの図書を取り上げました。手打会員と塚田会員の力作の書評に取り組んでいただいたお二人の会員に御礼申し上げます。

創刊号ということで、組織体制や規則を作りながらの編集となりました。「投稿規程」も暫定的なものであり、今後編集委員会で改善していく予定です。会員の教育学研究の領域が幅広く、また教育実践に携わる多くの会員を擁しているという本学会の特色を活かした編集をしていきたいと考えております。

さて、研究誌を編集する作業は、単に個々の論文や書評を掲載するにとどまらず、それらの間の響きあいや対話を引き出す意味があるのだと思います。そこには創発性があり、さらなる研究の発展につながるとともに、その蓄積が学会の実績や特色となっていくのでしょうか。この創刊号がその礎となれば幸いです。

(水本徳明)



# 筑波大学教育学会編集委員会

編集委員会委員長

宮寺 晃夫 (筑波大学)  
(amiyade@human.tsukuba.ac.jp)

編集委員会

飯田 浩之 (筑波大学)  
大坂 治 (北海道教育大学)  
庄司 一子 (筑波大学)  
助川 晃洋 (宮崎大学)  
塚田 泰彦 (筑波大学)  
鶴岡 義彦 (千葉大学)  
野島 正也 (文教大学)  
水本 徳明 (筑波大学)

編集幹事

平井 悠介 (筑波大学大学院)  
(youhirai@human.tsukuba.ac.jp)

筑波教育学研究 創刊号

---

2003年3月7日 発行

編集・発行 筑波大学教育学会  
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
印刷 株式会社いなもと印刷  
電話 029(826)1221

---